

## 『丹後縦貫林道整備計画検討委員会』設立趣旨

丹後縦貫林道リフレッシュ事業及び緑のふるさと林道建設事業は、一般車両の通行需要増大に伴い、老朽化した低規格林道を通行安全性確保のため高規格化、開設・延長整備するものである。

この事業は、京丹後市丹後町上野の国道178号から京丹後市大宮町三重の国道312号まで丹後半島脊梁部を南北に縦貫、接続し、周辺に点在する温泉や各種誘客施設、集落の連絡強化・地域資源のネットワーク化を担う路線として、また沿線の森林管理、林業振興の基幹となる路線として「新京都府総合計画」に位置づけられている。

一方で、幹線道路などの広域的かつ根幹的な施設の整備にあたっては、関係する府民が広範囲に及ぶことや、価値観の多様化を背景として、計画の内容はもとより、計画の決定過程についても改善を図ることが求められている。

このため、平成16年2月策定の「農林水産公共事業改革プラン」の中で、地域資源を保全活用した府民参加型の基盤整備を促進することとしており、地域特性をより重視しながら、地域住民の参画を広げ、協働計画を行うこととしている。

このような背景のもと、「環境と地域と住民を結ぶ林道づくり」を推し進めるため、京都府丹後広域振興局は丹後縦貫林道協議会の協力を得て、『丹後縦貫林道整備計画』の概略計画の立案において、手続きの透明性、客観性、公正さを確保するため本委員会を設立し、委員各位に、住民参画プロセスについて助言、評価を依頼する。

京都府丹後広域振興局長 中村 彰